

福島第一原子力発電所 雑固体廃棄物焼却設備（A）
二次燃焼器バーナ安全弁の動作について（続報）

＜ 参 考 資 料 ＞
2 0 2 1 年 8 月 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

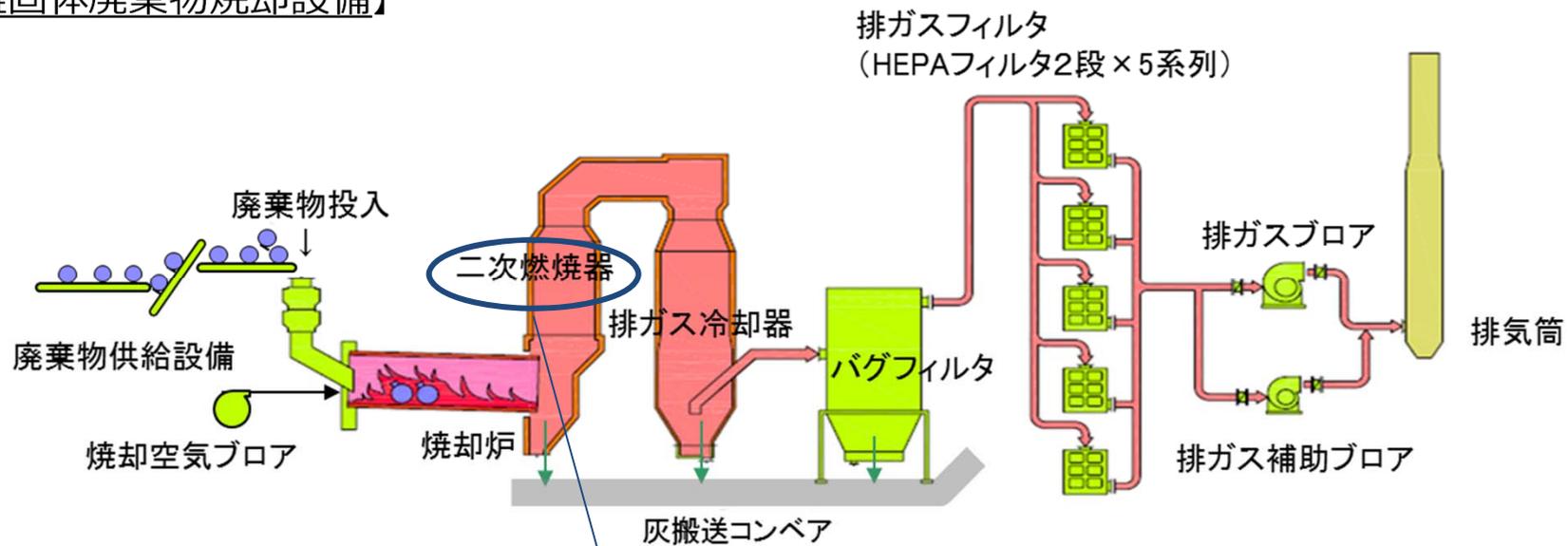
- 7月30日に雑固体廃棄物焼却設備（A）「二次燃焼器バーナA軽油圧力高」警報が発生し、安全弁が動作したことにより、バーナ燃焼用の軽油が、油受けに排出されていることを確認しました。排出された油は全量が油受けに留まっており、周辺への拡大はありません。（範囲：約25cm×約25cm×深さ約0.1cm）
- 浪江消防署から「油漏れ事象」と判断され、同設備は現在、運転を停止しております。

＜2021年7月30日 お知らせ済み＞

- その後、雑固体廃棄物焼却設備（A）については、軽油ライン内の圧力が何らかの原因で上昇し、安全弁の動作に至ったことが確認されました。
- 今後、軽油ライン内の圧力が上昇するに至った原因について、実運転を実施する中で、パラメータ（軽油圧力や二次燃焼器の温度等）の確認を行いながら究明してまいります。
- 安全弁が動作した原因については、バーナノズル詰まり、減圧弁の不具合の有無や軽油ラインの温度膨張等が考えられるため、それらの確認を実施してまいります。
- なお、雑固体廃棄物焼却設備（A）については、本日（8月5日）、雑固体廃棄物焼却設備（B）を起動し、問題が無いことを確認したうえで、来週以降準備が整い次第起動する予定です。
- 起動にあたっては、運転管理員を増員し、トラブル発生時に現場確認や関係箇所への連絡が確実に取れる体制（24時間対応）とし、起動後の原因究明に努めてまいります。
- また、本件については8月2日に 双葉消防本部へあらためて経緯をご説明し、「危険物の漏えい事象ではない」との回答をいただくとともに、今後の調査方法などについてもご説明することで、雑固体廃棄物焼却設備の原因調査のための起動についてご理解いただいております。

(参考) 設備概要図と現場状況

【雑固体廃棄物焼却設備】



【現場状況 (バーナ安全弁ユニット)】

当該安全弁

